

## 豆類

### **Box bean / *Entada phaseoloides* / Modama / モダマ**

アフリカから日本の海岸近くの林冠に太いつるが絡まる姿が見られるマメ科の植物のモダマ。落ちた種子が海藻に覆われた姿から「モダマ」（藻玉）と呼ばれ、海流に乗って種が広く分布される。つるは太く、30cm にもなり、20m ほどの高さの木の枝に四方八方に絡みつく。雨季にはアイボリー色のブラシ型の花をクラスター状に付ける。最も特徴的なマメのさやは長さ 1m 以上となり、秋には直径 5~7cm ほどの大きな茶色い円形の種子が入っている。モダマは奄美大島の住用あたりで多く見られ、中には樹齢 100 年以上も超えるものもあり、島では絶滅危惧種と指定され、種子の採取は禁止されている。

### **Color vine / *Mucuna macrocarpa* / Irukanda / イルカンダ**

樹木のようなつるを持つイルカンダは、琉球列島から九州部の大分まで自生し、大木に絡みながら湿度の高い日陰で成長し、長さは 10m 以上になる。春には珍しい赤紫の花がブドウ状に咲き、幅 30cm ほどになる。研究者は一時期、フルーツコウモリの一種のオオコウモリのみによる受粉が行われていると考えられていたが、オオコウモリが生息しない奄美大島で増殖しているため、受粉は蝶や風によるものかと考えられている。